

刈払機（草刈機）

AK-1800

回 二重絶縁



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ

ページ

警告表示について	1
安全上のご注意	2
刈払機ご使用に際して	8
騒音について	14
二重絶縁について	14
各部の名称	15
仕様	15
用途	16
付属品	16
別販売品	16
ご使用前の準備	17
作業する場所に関して	
漏電しや断器設置のすすめ	
延長コードについて	
電源コードの接続	
補助ハンドルの取付け・調整	18
工具収納位置	18
飛散防護カバーの取付け	19
刈刃カバーの取付け	19
刈刃の取付け	20
肩掛バンドの取付け・調整	23
電源コードの接続	23
ご使用前の点検	24
使用電源 / スイッチ操作	
電源プラグの接続 / 電源コンセント	
スイッチの扱い方	25
過負荷保護装置について	26
刈込み作業	26
基本的な作業	
キワ刈り作業について	28
刈刃の手入れ	29
各部取付けネジの点検	29
警告ラベルについて	29
使用後の手入れ	30
作業後の保管	30
修理について	30
故障かなと思ったら	31
保証書	34

安全上のご注意

主要機能名称・用途

準備

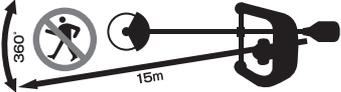
使い方

保守と点検

警告表示について

■警告マークについて

本機および取扱説明書に警告マークを表示しています。
この警告マークの意味を十分ご理解のうえで使用してください。

 <p>使用前に取扱説明書を最後まで必ずよく読むこと。</p>	 <p>感電のおそれがあるので、雨中や湿った場所またはぬれた場所で使用しないこと。</p>
 <p>作業中は安全帽（ヘルメットなど）、保護めがね、耳栓などの保護具を着用すること。</p>	 <p>電源コードが損傷した場合は、電源プラグを抜き、新品に交換すること。</p>
 <p>刈払機の作業員から15m以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないこと。また、数台同時に作業をするときもこの距離を守ること。</p>	

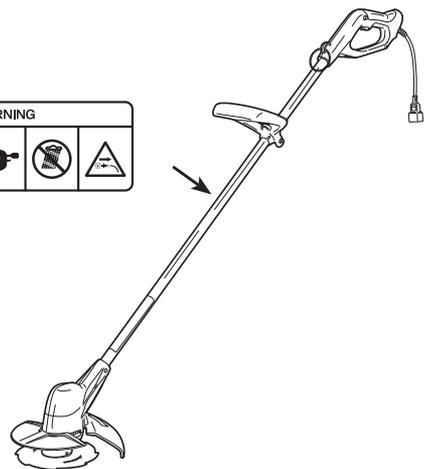
■警告ラベル

本機に次の警告ラベルが貼付けてあります。警告ラベルの意味をよく読み理解したうえで作業してください。

(取扱い)

- ・ 警告ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・ 警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ・ 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に同じ警告ラベルを貼ってください。

(貼付け位置)



安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
		感電注意	回転部注意	

安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境



必ず守る

作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。



禁止

可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。

・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。



禁止

使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。

・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

電気に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。

・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意



必ず守る

パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。

・ 感電するおそれがあります。



感電注意



水ぬれ禁止

電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。

・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



感電注意

警告

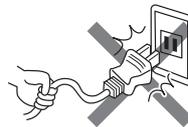
電気に関する安全事項



禁止

電源コードを乱暴に扱わないでください。

- ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。



感電注意



必ず守る

屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。

- ・屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意

作業者に関する安全事項



必ず守る

油断しないで十分注意して作業してください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
- ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
- ・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



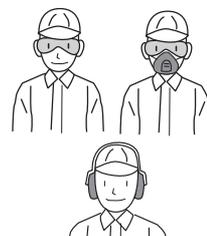
禁止



必ず守る

安全保護具を使用してください。

- ・作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。



必ず守る

不意な始動は避けてください。

- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ・スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

警告

作業者に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。



必ず守る

・材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



禁止

きちんとした服装で作業してください。

・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。



必ず守る

・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。



必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用と手入れ



必ず守る

無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。



禁止

・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。



点検・確認

スイッチに異常がないか点検してください。

・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。
ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

電動工具の使用と手入れ



電源プラグを抜く

意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・保管、または修理する場合
- ・その他危険が予想される場合



必ず守る

使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。



禁止

- ・不慣れな方のご使用は危険です。



点検・確認

電動工具の保守点検をしてください。

- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所にも異常がないか確認してください。
- ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。



よく読む

- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



必ず守る

- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 警告

電動工具の使用と手入れ



必ず守る

先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。



必ず守る

電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

整備



分解禁止

電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。



必ず守る

- ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

その他の安全事項



点検・確認

損傷した部品がないか点検してください。

- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

警告

その他の安全事項



必ず守る

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。



必ず守る

材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



禁止

ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・感電のおそれがあります。

刈払機ご使用に際して

- 先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、刈払機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

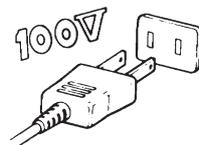
作業の前に



必ず守る

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本体が破損するおそれがあります。



点検・確認

各部のネジにゆるみがないか、損傷箇所がないか点検してください。

- ・けがの原因になります。

安全上のご注意

警告



必ず守る

保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- ・ そで口をきちんと閉めた作業服、すそ閉まりのよい長ズボンを着用。
- ・ 山林や傾斜地ではヘルメットまたは規格に適合した帽子を着用。
- ・ 足元保護のために滑り止めのある安全靴。
- ・ 保護めがねまたはフェイスガード。
- ・ 防振性の高い手袋。耳栓、イヤマフなどの防音保護具着用。



作業の前に



禁止

次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。

- ・ 子供には使わせないでください。
- ・ 妊娠中の人は使用しないでください。
- ・ 疲れているとき、病気の時、酔っているときは使用しないでください。
- ・ 薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
- ・ 機械の知識のない人や、他の人に機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を他の人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。



必ず守る



点検・確認

小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。

- ・ 刈刃に当たり、飛散して作業や周囲の人がけがをする原因になります。



必ず守る

作業する箇所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。

- ・ 電線管や水道管、ガス管などがあると、刈刃が触れ、感電や漏電、ガス漏れなど、事故の原因になります。



点検・確認

始業前に刈刃を点検してください。

- ・ 刈刃にヒビ割れ、傷、曲がりがある場合は使用しないでください。



必ず守る

刈刃が確実に取付けられているか確認してください。

- ・ 刈刃が破損したり、はずれたりすると事故の原因になります。

警告



禁止

本機の使用用途は雑草の刈込みです。枝打ち作業などには、絶対に使用しないでください。

- ・ けがや事故の原因になります。



禁止

ぬれた草や芝の刈込みはしないでください。

- ・ 水が内部に侵入し、錆付いたりモーター冷却風取入口（通風口）が詰まり、故障の原因になります。



禁止

強風るとき、および夜間に使用しないでください。

- ・ 安全な作業ができないため、けがの原因になります。



よく読む

刈刃、補助ハンドル、飛散防護カバー、肩掛バンドや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。また、刈刃の取付け、交換時には、必ず手袋および刈刃カバーを付け、手や顔などに直接、刈刃が触れないようにしてください。

- ・ 確実にしないと、外れたりし、けがの原因になります。



必ず守る



必ず守る

刈刃は、指定のもの以外使用しないでください。けがの原因になります。

- ・ 刈刃や付属品は取扱説明書に従って、確実に取付けてください。
- ・ 刈刃の穴を刃受金具凸部に確実に取付けてください。
- ・ 交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。
- ・ 刈刃はよく目立てされたものを使用してください。
刈刃を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃元に丸みを付けてください。（29 ページ「■刈刃の手入れ」参照）
- ・ 取付け前に刈刃を確認し、少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刈刃は、新品と交換してください。
- ・ 六角穴付ボルトは付属の六角棒レンチを使用し、最後まで締付けてください。
- ・ 刈刃取付け後、刈刃を手で回して、六角穴付ボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがいないか確認してください。
適切に取付けられていないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。

安全作業のため

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

警告



必ず守る

飛散防護カバーは指定する位置に取付け、確実に固定しているか確認してください。

- ・刈くずや小石などが飛散し、けがの原因になります。



禁止

セフティロックボタンを押した状態で固定しないでください。

- ・安全機構が働かず、けがの原因になります。



必ず守る

スイッチを入れるときは、次のことに注意してください。スイッチを入れると同時に刈刃が回転し、けがの原因になります。

- ・刈刃が地面に触れないようにしてください。
- ・周囲に人、動物、障害物などがないかを十分確認してください。



必ず守る

連続作業は疲労のため、事故の原因になります。

- ・1回の作業時間は30分以内とし、10～20分休憩してください。
- (参考) 国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として、

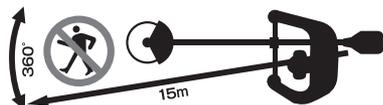
1回の連続作業時間	30分以内	1週の作業日数	5日以内
1日の作業時間	2時間以内	1ヶ月の作業時間	40時間以内



必ず守る

作業中は、半径15m以内に人や動物、ものなどを近づけないでください。刈刃や飛散物が当たり、けがの原因になります。

- ・これらが接近したときは、直ちにスイッチを切り、刈刃の回転を止めてください。
- ・同一作業場で、同時に作業するときは、15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。



安全作業のため

警告



必ず守る

無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。

- ・ 刈刃部分を膝より上にあげないでください。
- ・ 作業は両手でハンドルをしっかりと握り、腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。



必ず守る

必ず肩掛バンドを使用し、肩掛バンドとハンドルを作業しやすい位置に調整をしてください。

- ・ 確実に保持することで、けがを防止できます。

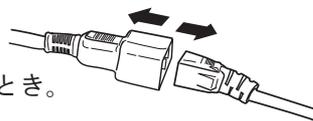


必ず守る

次の場合は、電源プラグを抜いてください。

電源プラグをさしたままにしていると、けがの原因になります。

- ・ 作業を中止したり、移動するとき。
- ・ 作業中に機械から離れるとき。
- ・ 機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
- ・ 刈刃などの付属品を交換するとき。
- ・ その他危険が予想されるとき。



電源プラグ
を抜く

刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いた後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。

- ・ 草などを取除いたはずみで不意に刈刃が回転し、けがの原因になります。



必ず守る

作業中、刈刃を石、金属、切株に当たないようにしてください。

刈刃が割れ、破片が飛散し、けがの原因になります。

- ・ 当たった場合は、必ずスイッチを切り電源プラグを抜いた後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、刈刃に異常がないか確認してください。
- ・ 小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。
- ・ 切株などに刈刃が食込んだときには、必ずスイッチを切り電源プラグを抜いた後、刈刃を切株などから離してください。



禁止

回転している刈刃に身体を近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

安全上のご注意

警告



禁止

回転中の刈刃が硬いものに接触した場合、反動（はね返り）が起こり、機械や作業者が激しく突かれます。刈刃を硬いものに接触させないでください。

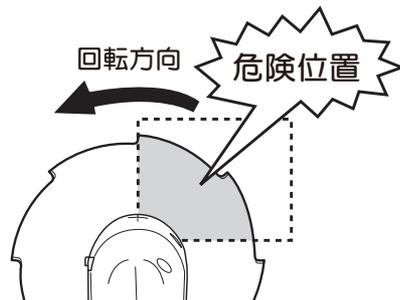
・ 作業者は機械を制御できなくなり、けがの原因になります。



禁止

刈刃の先端から右側部分に樹木などの障害物を接触させないでください。

・ 作業者の右側に向かって反動（はね返り）が発生し、けがの原因になります。



必ず守る

刈払機を使用している人に近づくときは、使用者から15m以上離れた位置で合図し、刈刃が停止したことを確認してから近づいてください。

・ 不用意に近づくと、使用者が気づかず、事故の原因になります。



点検・確認

誤って落としたりぶつかけたりしたときは、刈刃や本体に亀裂、変形などがなければ確認してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。



必ず守る

刈刃でコードを切断しないように注意してください。

万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 感電の原因になります。



必ず守る

作業を終えるときは、スイッチ（トリガ）を放し、刈刃が停止したことを確認してから機械を降ろし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ スイッチ（トリガ）を放した後も刈刃が回転し続けることにより、けがをすることがあります。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。

安全作業のため

⚠ 注意

安全作業のために



必ず守る

草が高く残っているときは、まず高刈りをし、障害物を確認してから作業してください。

・ 隠れた障害物に刈刃が当たり、けがの原因になります。



必ず守る

保管や持運びのときは、必ず刈刃に刈刃カバーを取付けてください。

・ 刈刃が人に当たり、けがの原因になります。



点検・確認

作業中、モーター冷却風取込口（通風口）が草などでふさがっていないか点検し、ふさがっている場合は取除いてください。

・ モーター焼損の原因になります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

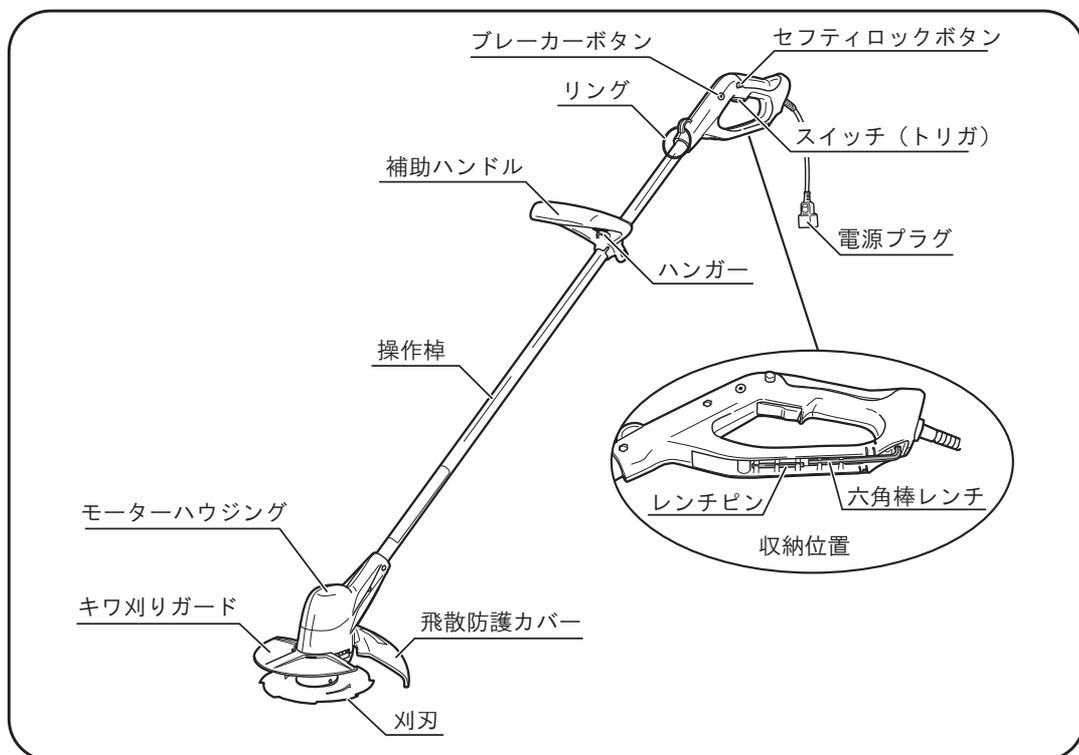
準備

使い方

保守と点検

主要機能・名称・仕様

■各部の名称



■仕様

- ・ 電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・ 定格電流 2A
- ・ 消費電力 180W
- ・ 無負荷回転数 $3,600 \text{ min}^{-1}$
- ・ 操作ハンドル ループハンドル
- ・ 刈刃寸法 (外径) 160mm × (内径) 20mm
金属刃 160 × 8 枚刃^{※1}
- ・ 本体寸法 (長さ×幅×高さ) 1,400 mm × 172mm × 273mm
- ・ コード長さ 0.25m
- ・ 質量^{※2} 1.8kg
- ・ 絶縁方式 二重絶縁

※1 ナイロンコードは使用できません。

※2 質量には刈刃カバー、肩掛バンドは含まれていません。

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

用途・付属品・別販売品

■用途

- ・ 芝から雑草までの刈込み作業

※用途以外の目的で使用しないでください。

■付属品

- ・ 刈刃（金属8枚刃）（外径）160mm ×（内径）20mm 1
- ・ 六角棒レンチ 5mm（本体収納） 1
- ・ レンチピン（本体収納） 1
- ・ 延長コード 10m 1
- ・ キワ刈りガード 1
- ・ 刈刃カバー 1
- ・ 肩掛バンド 1
- ・ 飛散防護カバー 1
- ・ 補助ハンドル組立（蝶ボルト付） 1

■別販売品



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



- ・ 刈刃（軽量チップソー）（外径）160mm ×（内径）20mm 刃数 18
- ・ 安定板（六角穴付ボルト付） ※安定板に同梱されている説明書をよくお読みください。
- ・ ベルトフックストラップ
- ・ 保護めがね
- ・ 刃物クリーナー（300mL）

準備

■ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・作業を始める前に現場の状況（地形、刈払う草の性質、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて（付属品の延長コードで足りないときに別途用意してください。）

警告



必ず守る

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・付属品の延長コード（10m）では電源からの距離が遠く、長さが足りない場合には別の延長コードを用意してください。

右表「コードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さ」を参考にして、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

コードの太さ	最大の長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m
2.0mm ²	50m

●電源コードの接続

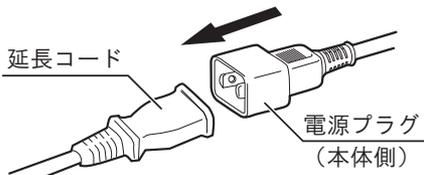
警告



必ず守る

- ・電源プラグ（本体側）を延長コードに接続する前にスイッチが切れている事、延長コードの電源プラグが電源コンセントに接続されていない事を確認してください。

- ・電源プラグを延長コードに接続します。



ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

警告



電源プラグ
を抜く

- ・本機の組み立てや工具、付属品の取付け、取外しの時は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・組立時は各部品を正しく組付けてください。組付けを誤ると事故を招くおそれがあります。

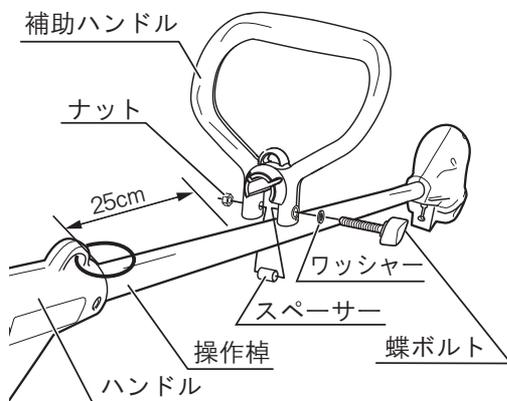
■補助ハンドルの取付け・調整

(取付け)

- ・補助ハンドルに取付いている蝶ボルトを取外してください。
- ・補助ハンドルを操作棒に押し込み、蝶ボルト、ワッシャー、スペーサー、ナットで固定します。

右図のように、補助ハンドルにワッシャーと蝶ボルトをさし込み、スペーサーに通してナットに蝶ボルトを締付けてください。

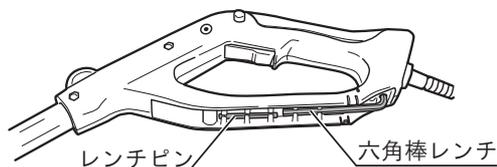
- ・補助ハンドルの取付位置は、ハンドル端面から約25cmを目安とし、作業のしやすい位置に調整してください。
- ・調整後は、蝶ボルトをしっかり締付けて補助ハンドルを固定してください。



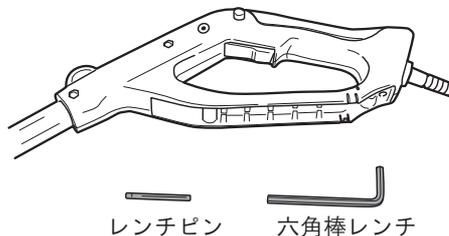
取付け・調整の際は、ワッシャー、スペーサー、ナットをなくさないように注意してください。

■工具収納位置

- ・刈刃の取付けに必要な工具（六角棒レンチ・レンチピン）はハンドルに収納しています。



収納状態



準備

■飛散防護カバーの取付け

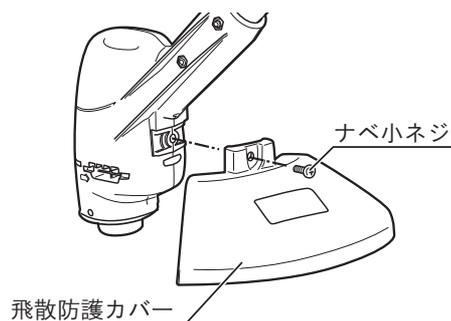
警告



必ず守る

- ・飛散防護カバーは必ず取付けて使用してください。刈りくずが飛散し、けがの原因になります。
- ・飛散防護カバーは、必ず指定する位置に確実に取付けてください。小石などが飛散した場合けがの原因になります。

1. 本体よりナベ小ネジを取外します。
2. 本体のネジ穴と飛散防護カバーのネジ穴を合わせて取付け、ナベ小ネジを締付けて固定します。



■刈刃カバーの取付け

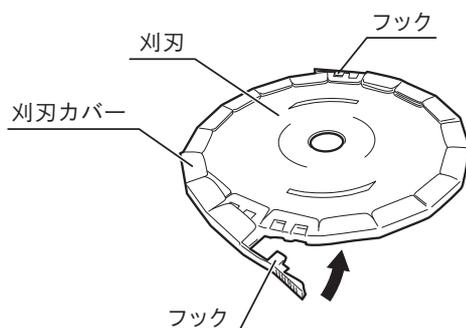
警告



必ず守る

- ・運搬時、保管時および刈刃の取付け、交換時には必ず刈刃カバーを取付けてください。刈刃でけがをするおそれがあります。

1. 刈刃の刃先を刈刃カバーの溝にはめ込んでから、フックで留めてください。(2ヶ所)
2. 取外すときは、フックを外し、刈刃カバーを外側に広げるようにして刈刃から外してください。



■ 刈刃の取付け

⚠ 警告



電源プラグ
を抜く



必ず守る

- ・ 刈刃の取付け、取外しの時は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 刈刃の取付け、取外しの時は、必ず刈刃カバーを取付け、手袋を着用してください。誤って手が滑り、刈刃でけがをするおそれがあります。
- ・ 刈刃の穴を刃受金具凸部に合わせて確実に取付けてください。確実に取付けていないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- ・ 六角穴付ボルトはゆるみ防止のために特殊な加工がしてあります。付属品の六角棒レンチを使用し、最後まで締付けてください。確実に締付けていないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- ・ 刈刃取付け後、刈刃を手で回して六角穴付ボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがいないか確認してください。確実にないと刈刃が飛び、作業者または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- ・ 刈刃にヒビ割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃の点検時には必ず手袋を着用してください。異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。

1. ハンドルから六角棒レンチ、レンチピンを取出します。(18 ページ「■ 工具収納位置」参照)
2. 本機を裏返してください。
3. ロールガードの穴とモーターハウジングの穴位置を合わせ、レンチピンを確実に奥までさし込み、回り止めをします。刃受金具を固定して軸が回らないことを確認してください。

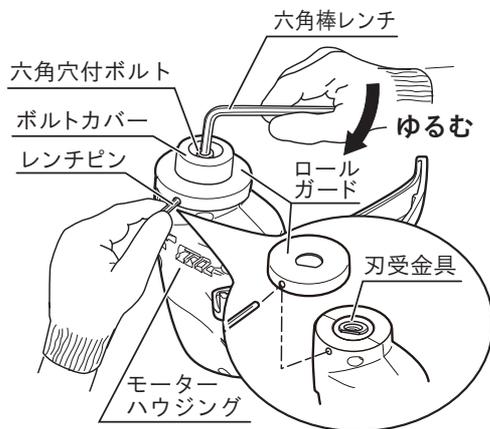


レンチピンが奥までさし込まれていないと固定できない場合があります。

4. 六角棒レンチを使用し、右図の矢印方向(ゆるむ)に回して、六角穴付ボルトをゆるめてください。

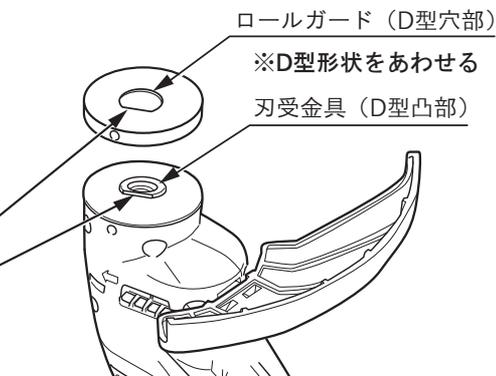
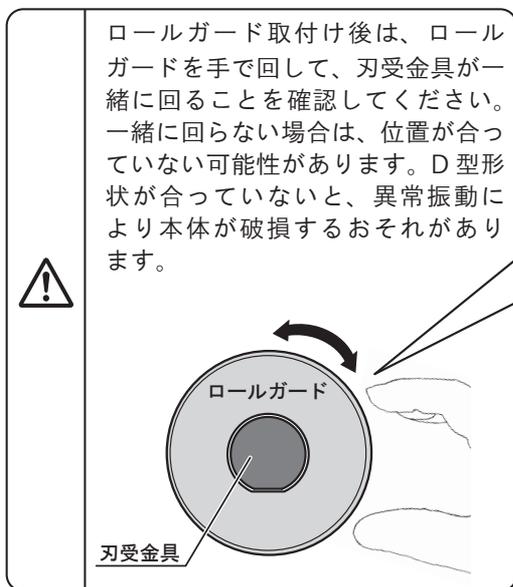
六角穴付ボルトは逆ネジ＝左ネジです。

5. 六角穴付ボルト、ボルトカバーを取外します。

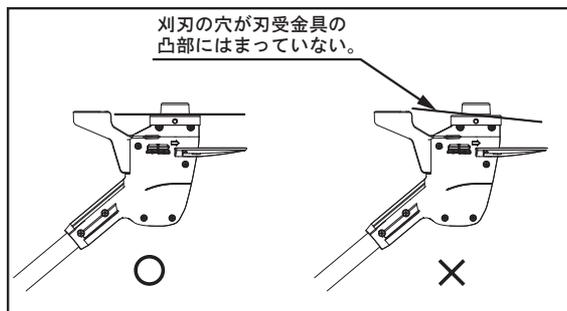


準備

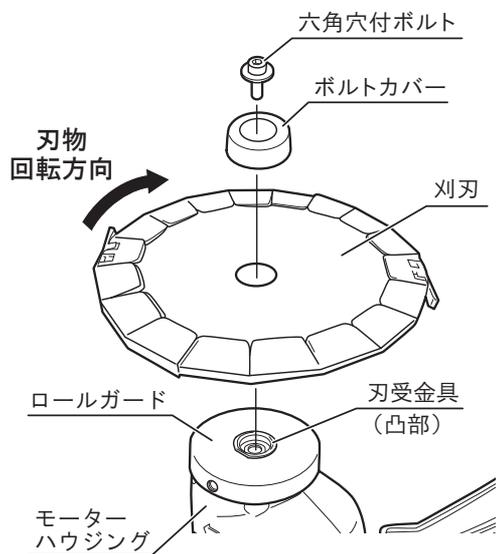
6. 刃受金具の D 型凸部とロールガードの D 型穴部の形状を合わせてください。



7. 刈刃はロゴマークなどがある印刷面をモーターハウジング側に、刈刃の穴を刃受金具凸部に合わせて確実に取付けてください。

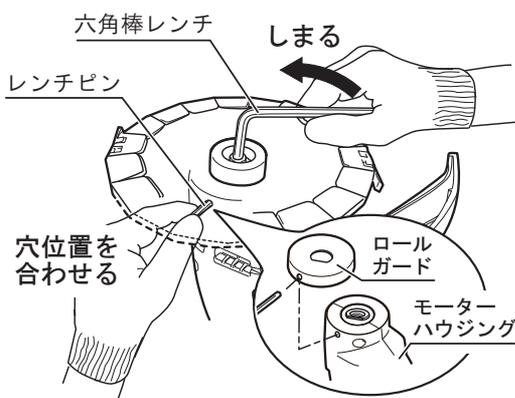


- その後、ボルトカバー、六角穴付ボルトを取付けてください。



8. 再度ロールガードの穴とモーターハウジングの穴位置を合わせ、レンチピンを確実に奥までさし込み、回り止めをします。刃受金具を固定して軸が回らないことを確認後、六角棒レンチを右図の矢印方向（しめる）に回して、しっかりと締付けてください。

※参考締付トルク = $9.8 \sim 14.7 \text{ N} \cdot \text{m}$
($100 \sim 150 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)



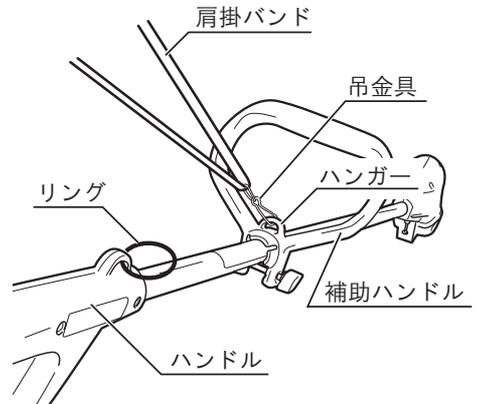
9. 取付け作業が終了したら、六角棒レンチ、レンチピンはハンドルに収納してください。

- ・ 刈刃の取外しは、取付けの逆の要領で行なってください。

準備

■肩掛バンドの取付け・調整

- ・肩掛バンドは、ハンドル部のリングまたは補助ハンドル部のハンガーの使いやすい側に吊金具を引っ掛けて取付けてください。バンドの長さを調整して、肩から吊るして使用してください。



■電源コードの接続

警告



電源プラグ
を抜く

- ・電源コードを接続する前にスイッチが切れていること、延長コードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

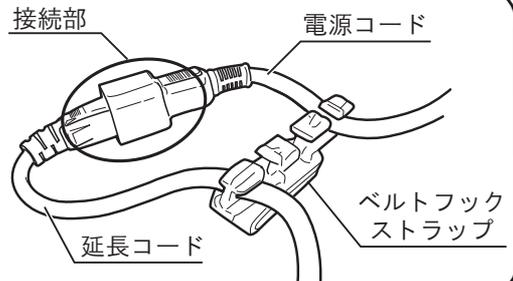
- ・電源コードを延長コードに接続します。
- ・作業中、コードの抜けを防止するため、図のような方法で接続してください。
- ・接続部を確実に接続してから、延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。



ベルトフックストラップ（別販売品）の使い方

電源コード、延長コードを右図のようにベルトフックストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。

- ※ 市販の延長コードは、太さによってはベルトフックストラップを使用できないことがあります。



■ご使用前の点検

警告



点検・確認

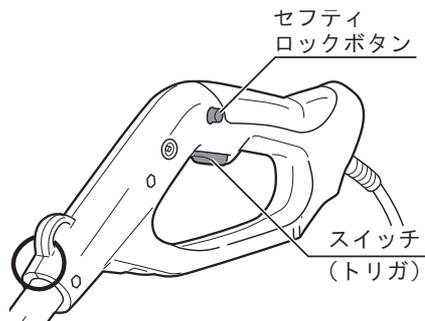
- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
 - ①～③項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

1 使用電源

- ・ 必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本体が破損するおそれがあります。

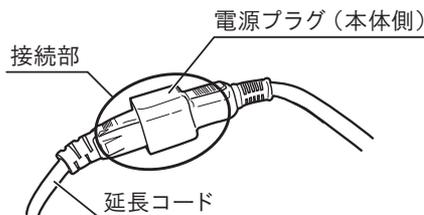
2 スイッチ操作

- ・ スイッチは、セフティロックボタンを押した状態でトリガを引くと入り、トリガを放すと切れます。トリガを放したとき、トリガが戻ることを必ず確認してください。



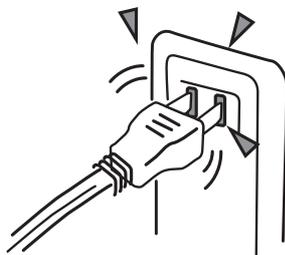
3 電源プラグの接続

- ・ 接続部が確実にさし込まれていることを確認してください。別販売品のベルトフックストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。



4 電源コンセント

- ・ 電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。



使い方

■スイッチの扱い方

警告



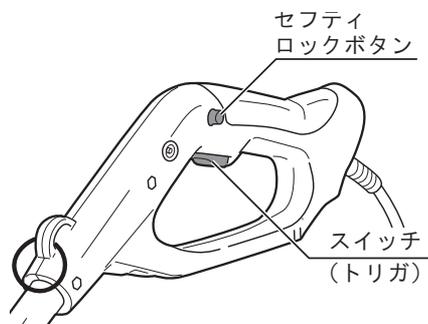
必ず守る



禁止

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速になり、本体が損傷するおそれがあります。
- ・ セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。安全機構が働かず、けがの原因になります。
- ・ 刈刃を地面につけた状態で、スイッチを入れないでください。反発が生じ、けがの原因になります。

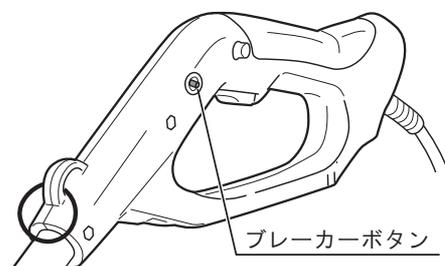
- ・ 本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・ セフティロックボタンを押した状態で、トリガを引くとスイッチが入ります。トリガから指を放すと切れます。



■過負荷保護装置（ブレーカー）について

- ・使用中、刈刃に草などが巻き付いたり、モーターに負荷がかかり過ぎると、過負荷保護装置（ブレーカー）が働き電源が切れます。

作業を再開する場合は、必ず電源プラグを抜き、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカーボタンを押してください。



■刈込み作業

⚠ 警告



必ず守る



禁止



よく読む

- ・飛散防護カバーは、必ず指定する位置に取付けて使用してください。刈りくずや小石が飛散し、けがの原因になります。
- ・ぬれた草や芝の刈込みはしないでください。水が内部に侵入し、錆付いたり通風口が詰まり、故障の原因になります。
- ・使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ・使用中は、刈刃などに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・作業中、刈刃を石、金属、切株に当てないようにしてください。刈刃が割れ、破片が飛散し、けがの原因になります。
- ・回転中の刈刃が硬いものに接触した場合、反動（はね返り）が起こり、機械や作業者が激しく突かれます。刈刃を硬いものに接触させないでください。作業者は機械を制御できなくなり、けがの原因になります。
- ・雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。転倒してけがの原因になります。
- ・刈刃、補助ハンドル、飛散防護カバー、肩掛バンドや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。

使い方

● 基本的な作業

- ・ 肩掛バンドは身体に合わせて長さを調整し、吊金具に本機を取付けます。
- ・ ハンドルを両手でしっかり握り、片足を一步踏込んで（刈刃の回転方向に合わせて）体重の移動が容易で安全な体勢を作ります。
- ・ スイッチを入れ、刈刃の回転が十分上がってから草刈作業を開始します。



刈刃を地面に平行にして作業を行なってください。刈刃の底面が地面に接しないようにしてください。



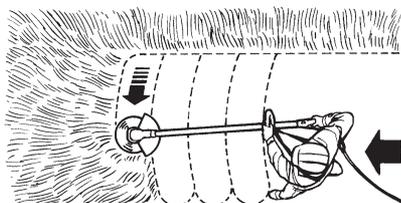
- ・ 操作棒だけを振回さず腰の回転によって操作します。

刈刃が左回転のため右から左に移動するようにして草刈りを行ないます。

右から左へ刈ると効率的な作業ができます。

- ・ 本機は草刈り用です。かん木などの木を刈るとモーターの回転数が落ちたり、停止することがあります。かん木などの木は機械の故障の原因となるため避けてください。

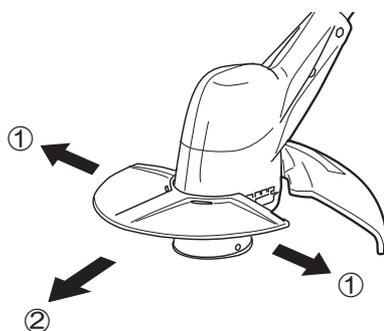
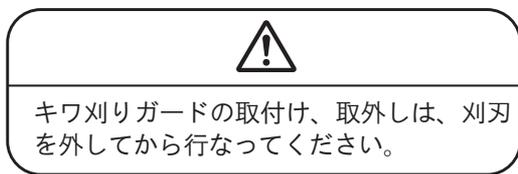
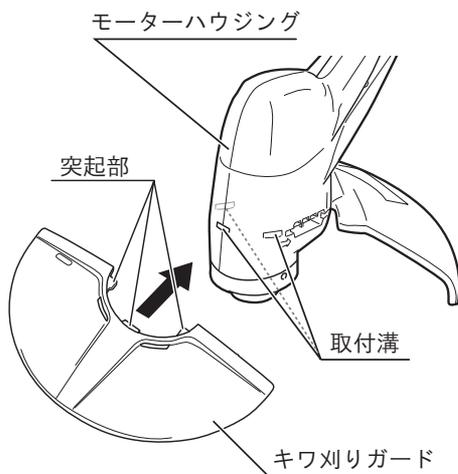
- ・ 負荷の掛けすぎにより、モーターの回転数が落ちたり、停止した場合には直ちにスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、過負荷の原因を取除いてください。



モーターが停止するような使用をすると、モーターを焼損するおそれがあります。

■キワ刈り作業について

- ・ブロック塀、建物、庭木などの障害物の近くで作業をする場合は、付属のキワ刈りガードを取付けて使用してください。刈刃が障害物に当たらず、安心して作業ができます。
- ・キワ刈りガードの取付けは、モーターハウジングの取付溝にキワ刈りガード内側の突起部を合わせて正面からさし込みます。
- ・取外しは、キワ刈りガードの両端を手で広げるようにして前方に抜いてください。



保守と点検

警告



電源プラグ
を抜く

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。



分解禁止

- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

注意

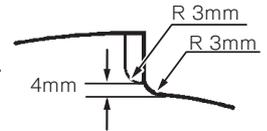


必ず守る

- ・刈刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。けがの原因になります。

■刈刃（金属8枚刃）の手入れ

- ・刈刃は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。刈刃が摩耗して切れ味が低下したときは、右図の寸法を目安に目立てを行なってください。



■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■警告ラベルについて

- ・警告ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- ・警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ警告ラベルを貼ってください。



■使用後の手入れ

- ・通風口に付着した刈りくずなどは、きれいに取り除いてください。
- ・作業後は柔らかいブラシなどで、飛散防護カバーや刈刃についた草や土を落としてください。
- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- ・刈刃に刈刃カバーを取付け、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症 状	原 因	処 置
スイッチを入れても刈刃が回らない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源コンセントにさし込んでください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品でお確かめください。
	刈刃部に草などが巻付いていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、草などを取除いてください。
	過負荷保護装置（ブレーカー）が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカーボタンを押して解除してください。
作業中に急に音が変わった。	刈刃部に草などが巻付いていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、草などを取除いてください。
	刈刃が欠けたり、変形していませんか。	新しい刈刃に交換してください。
振動が大きい。	刃受金具のD型凸部とロールガードのD型穴部の形状を合わせていますか。	ロールガード取付け後は、ロールガードを手で回して、刃受金具と一緒に回ることを確認してください。 一緒に回らない場合は、刃受金具のD型凸部とロールガードのD型穴部の形状を合わせてください。
	刈刃と刃受金具の嵌合部が合っていますか。	嵌合部を確実に合わせてください。
	刈刃が欠けたり、変形したりしていませんか。	新しい刈刃に交換してください。
草が刈れない。	刈刃が欠けたり、摩耗していませんか。	刈刃を目立てするか、新しい刈刃に交換してください。
	回転方向に対し、刈刃の取付け向きが逆になっていませんか。	正しい回転方向に刈刃を取付けてください。

※ これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準
備

使
い
方

保
守
と
点
検

NOTE

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 AK-1800		製造番号（本体の銘板をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話 ()	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用消耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市長久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

